

## 質問9 クォータ制導入について

(該当箇所:p.117、第3号議案、役員選挙におけるクォータ制導入承認の件)

本件を読みますと、p.1172 段落目に「また、作業療法の職域も多様に変化しており…」との記載があるのですが、以降、提案文「2) 役員選挙におけるクォータ制の導入 (p.118)」の最後まで読んでも「ジェンダーバランスのとれた組織をまずは目指します (質問者が要旨)」としか記載内容が書かれていないように、読み取れます。

人種や民族と同じように「職域にも多様性がある」と認めながらも、それに関する本件の提案文がない理由をご教示頂きたいのと、議案提案文の中で述べているように、「会員の視点に立った活動を展開するため」職域の多様性も会の運営に反映させるべきであり、今後、こうします、と「職域の多様性」に関する提案も合わせて、クォータ制度導入の議事提案をして頂くことはできないか。

## 回答

ご質問をありがとうございます。

ご指摘の通りに「職域の多様性」に対しクォータ制も今後進める必要があり、総会の当日配付資料に含めたロードマップには「領域・クォータ制導入」として今後の方向性として記載されています。また、世代の多様性についても考慮する必要性があり、「世代・クォータ制導入」も今後の方向性として含ませていただいております。議案書に記載が足りませんでしたこと、心よりお詫び申し上げます。当日の発表の際には、この点についてもしっかりとお伝えさせていただきます。

一方、議事提案内容についてですが、今回はまずその一歩としての「ジェンダー・クォータ制」の導入、さらには「候補者クォータ制」から導入することの是非についての議事提案とさせていただいております。今後、2025年の役員選挙の動向を確認し、安定的な運用の見通しが立てば段階的に「当選者クォータ制」の導入を目指すことを予定しております。選挙制度の詳細は改めて社員総会に諮ることとさせていただき、今後も引き続き検討を続ける事案かと理解しております。

どうぞ引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。